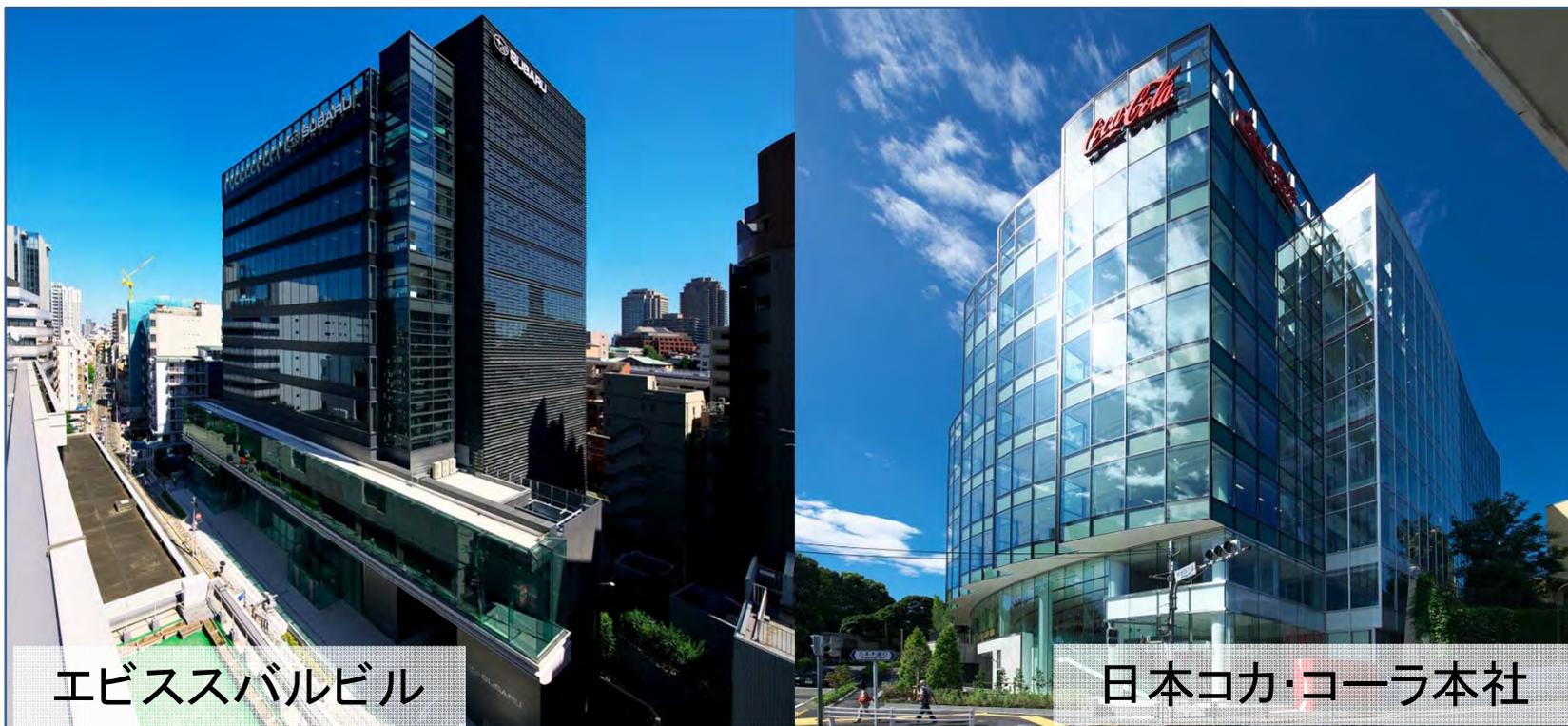


魅力ある建設業にするためには



2016年11月12日

大成建設(株) 小林 祥二

一般社団法人 日本建設業連合会

# プロフィール

小林 祥二（こばやし しょうじ）

所属：大成建設株式会社

## 経歴

1994 大成建設入社

1994～1996 横浜支店

1996～ 東京支店

2001～ 工事主任

2003～ 工事課長代理

2006～ 工事課長

2012～ 作業所長



# 工事履歴

1994～1996

クイーンズスクエア



B5F-28F-P2F (業務B棟)  
345,700m<sup>2</sup>  
事務所・ホテル・ホール・店舗他

1996～1998

新江東清掃工場



B1F-9F  
105,300m<sup>2</sup>  
清掃工場

# 工事履歴

1998～2000

味の素スタジアム



B1F-5F

85,800m<sup>2</sup>

観覧場

2000～2002

慈恵大学大学1号館



B3F-18F-P1F

20,500m<sup>2</sup>

学校(大学)

# 工事履歴

2002～2003

新宿ファーストウェストビル



B2F-18F-P1F

44,500m<sup>2</sup>

事務所・店舗

2003～2006

住友不動産神田ビル



B2F-20F-P1F

29,000m<sup>2</sup>

事務所

# 工事履歴

2006～2009

住友不動産西新宿ビル



B2F-33F-P1F

39,100m<sup>2</sup>

事務所・店舗

2009～2012

西新宿八丁目再開発



B3F-40F-P2F (超高層棟)

180,000m<sup>2</sup>

事務所・集合住宅・ホール・店舗他

# 工事履歴

2012～2014  
エビススバルビル



B2F-12F-P1F  
25,400m<sup>2</sup>  
事務所・店舗・自動車修理工場

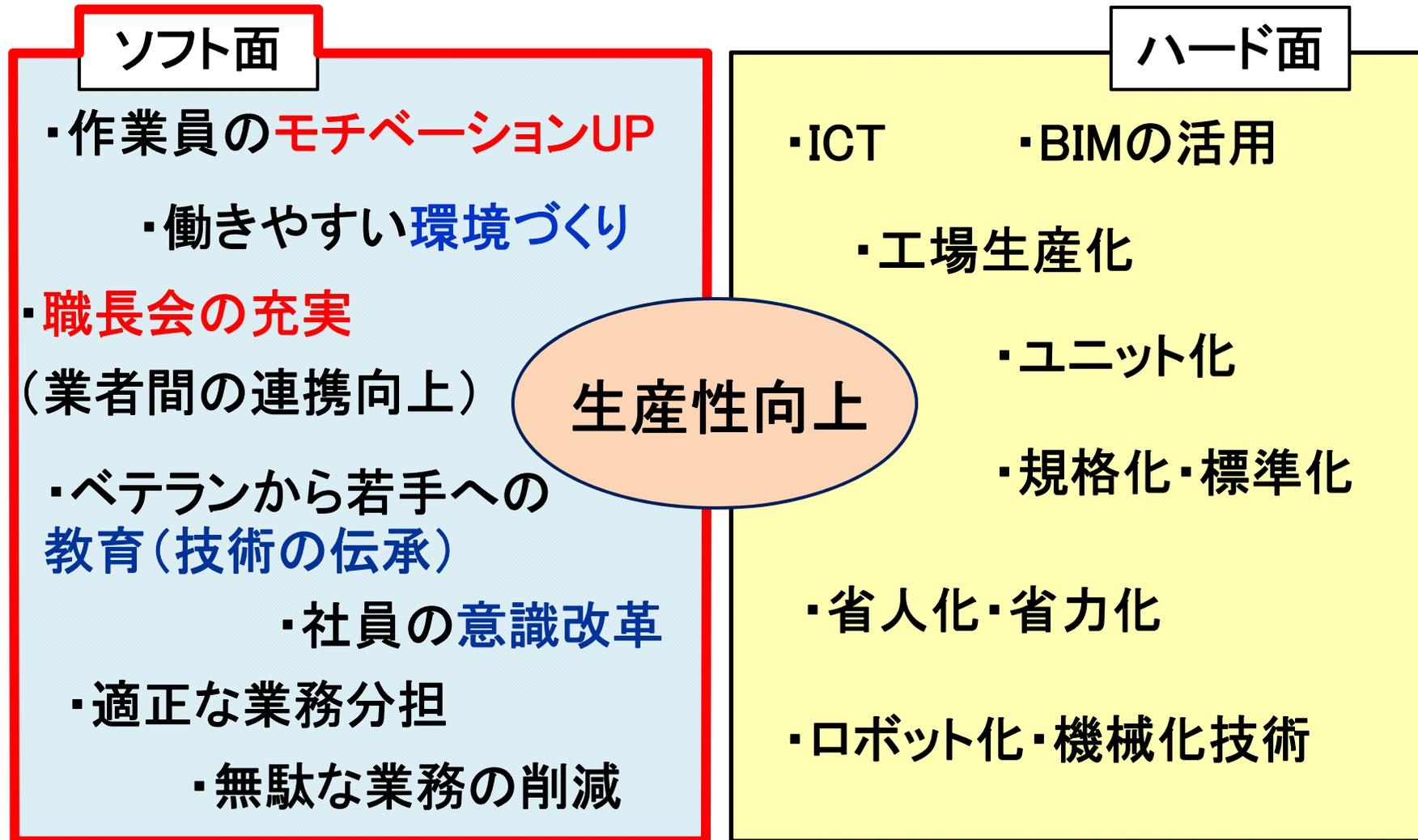
2014～2016  
日本コカ・コーラ本社ビル



B1F-7F-P1F  
12,100m<sup>2</sup>  
事務所

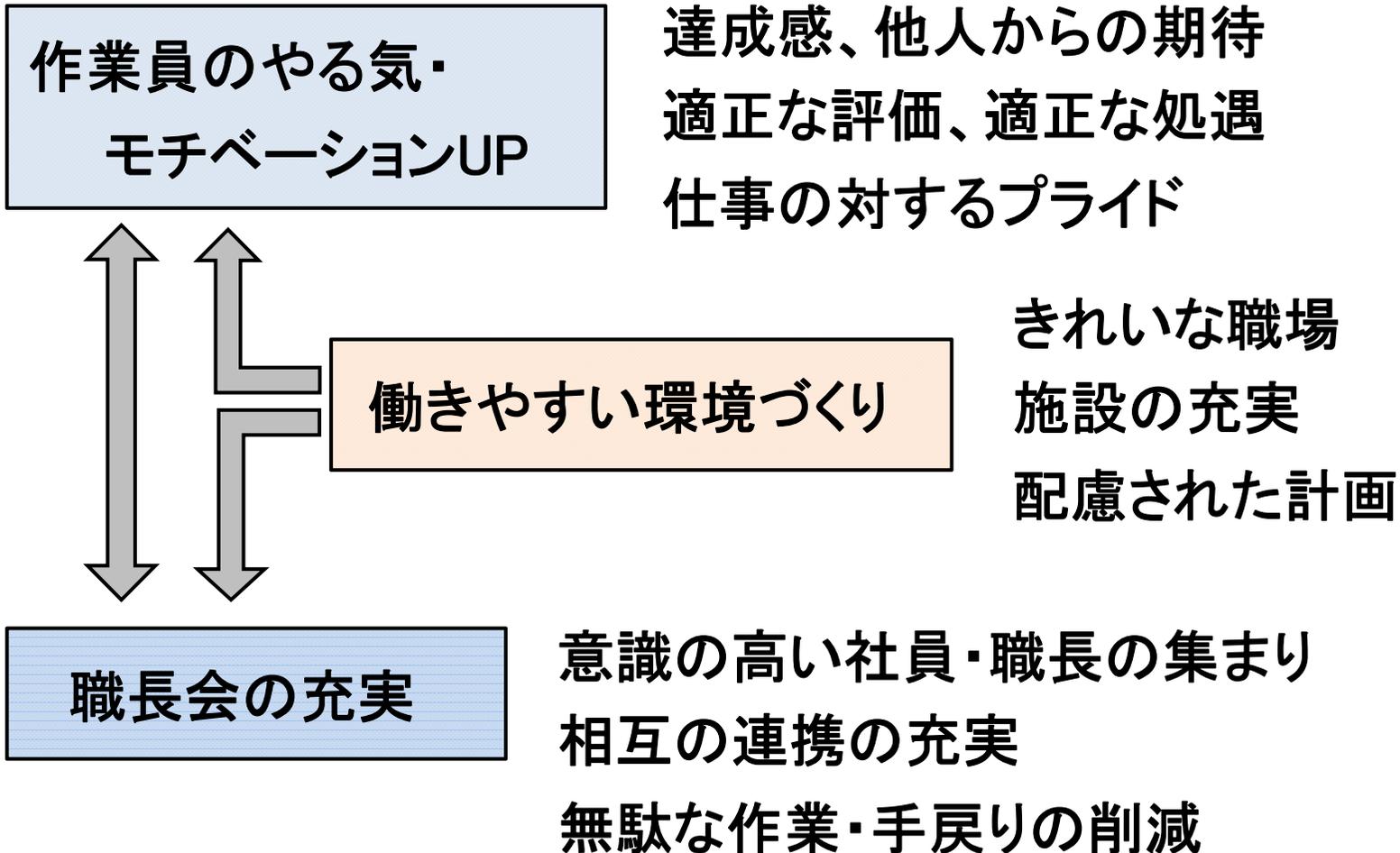
# 1.生産性向上に対するソフトとハードのマネジメント力

## 1.1 生産性向上のソフト面・ハード面



## 1.2 生産性向上に対するソフト面のマネジメント

★ 1 + 1 = 2ではなく、3にも4にもなる仕組みづくり



## ■作業員のやる気・モチベーションUP

### ★良く見て、評価する

- 「職人だから出来て当たり前」ではなく、  
「プロフェッショナルな技術」に素直に感動し、声をかける
- 優秀、貢献度の高い職長、作業員は表彰する  
(一級職長・優秀職長制度、安全表彰等各種表彰)
- 働く姿の撮影、掲示、施工記録の作成  
普段の頑張っている姿が「かっこいい」  
⇒ 家族・恋人に見せられるように！

## ■職長会の充実

- ・意識の高い職長が集まると「安全」「品質」「工程」「モラル」は確実に向上する
- ・より効率的な作業環境が整い、気持ちよく仕事ができるから、出来高も上がり、結果「コスト」にも成果が表れる

## ■働きやすい環境づくり

- ・工事計画は元請の「押し付けの計画」ではなく、事前検討会を何度も行い、職長の意見を反映する
- ・共通仮設（詰所、便所、シャワー室、喫煙所、安全通路等）は思いやりをもって、快適な施設を計画

魅力ある建設業にするためには



職長会主催 救助訓練



働く姿の掲示



優秀職長表彰・安全表彰

## 2.人材育成

### 2.1 若手社員の育成

#### ■もの作りの楽しさを教える

もの作りのプロセスは、きつい、苦しい、つらいことが大半を占めるかもしれない・・・

しかし、自分で建物を作り上げたという達成感は何物にも代えがたい。

仕事を楽しいと感じるのは？

- ・その事自体に興味がある ⇒ 「好き」であること
- ・ハードルがあり、超えることで達成感が得られる
- ・誰かの役に立っていると感じられる
- ・頑張ればそれに見合った処遇、待遇が得られる

## ■任せる・失敗させる

### 自分の経験

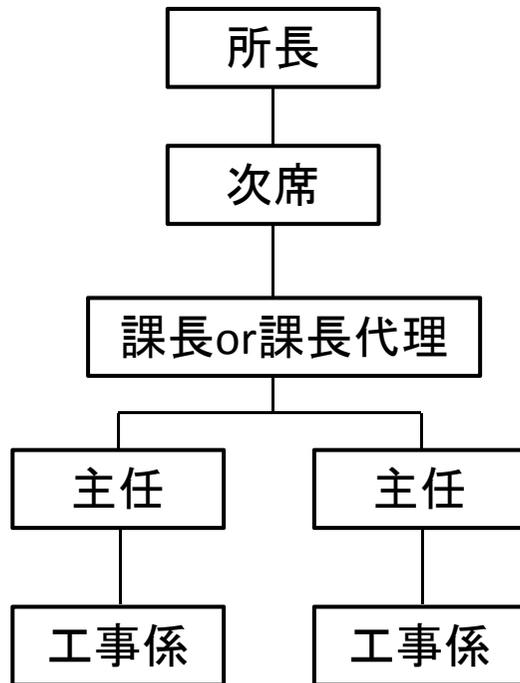
- ・若い時期から仕事を任せて貰えた
  - ⇒任せてもらった嬉しさと責任感の重さ
  - 自分がやるしかない、だから真剣に考える・行動する
- ・失敗もたくさん経験した
  - ⇒失敗は忘れない、同じ事は2度と失敗しないよう考える



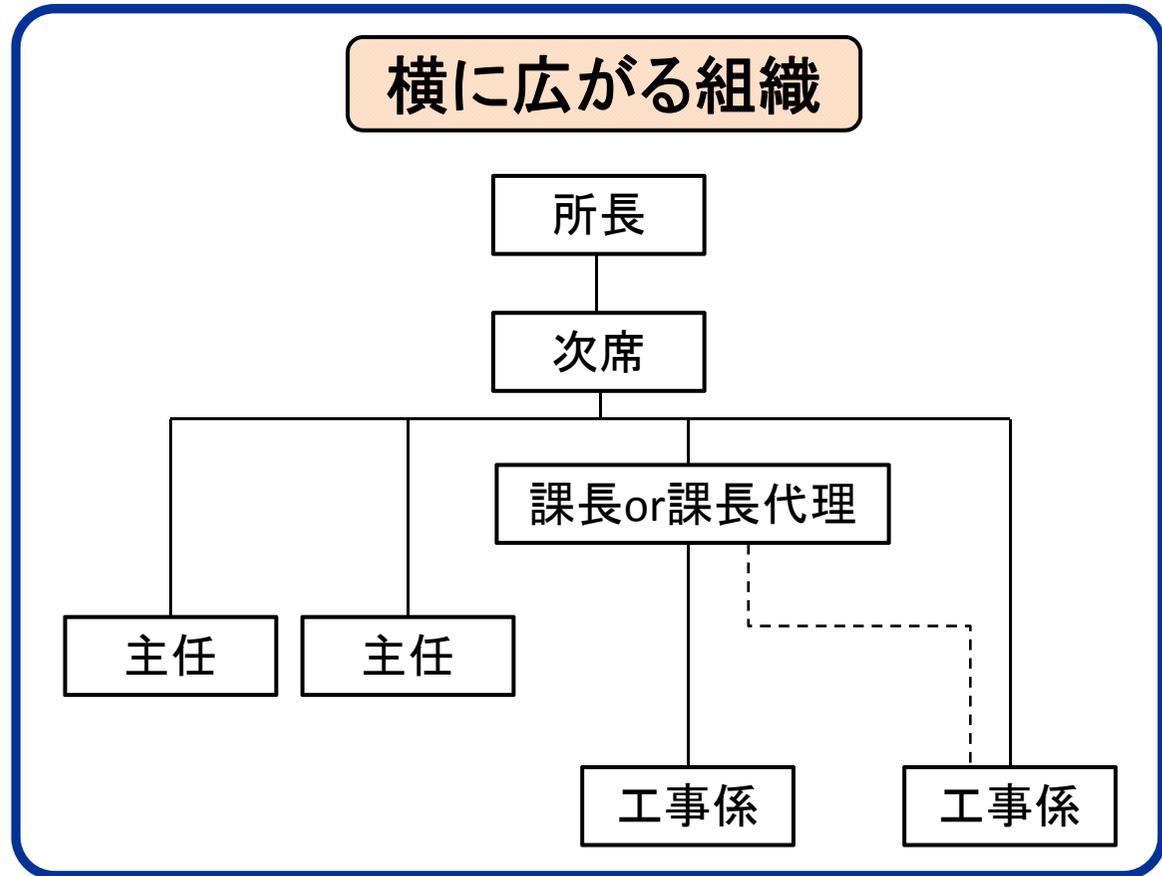
- ・出来るだけ一人一人に任せる組織作り
- ・縦に長い組織ではなく、横に広がる組織作り

★ピラミッド型で広がっていく組織が理想であるが、  
昨今の社員の年齢構成では、難しい。  
若手社員に雑務が集中し、「考える」暇がない。

縦に長い組織

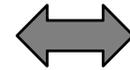


横に広がる組織



## ■褒める・叱る

いつ褒める？どう褒める？



いつ叱る？どう叱る？

「褒める」 ※ 社員に対しても、職人に対しても

- ・人は「褒められたい」、「認められたい」という願望を持っている
- ・少しでも「凄いな」、「良く頑張ってるな」、「大したもんだな」と思った時は、声に出して褒める。本気で褒める。  
(お世辞で褒めても本人は気付いている)
- ・「褒め過ぎ」も良くない。  
たまに褒められるから、頑張ろうという気になる。

## 「叱る」

- ・「怒る」ではなく「叱る」、感情を抑える
- ・人前では叱らないようにする  
特に部下の前では絶対に叱らないよう心掛ける
- ・叱られて伸びる・奮起する人もいる  
ただし、心のケアも忘れずに（本当は傷ついているかも）

★ 「褒める」 > 「叱る」 が理想

分かっているが、これがなかなか難しい・・・

## 2.2 若手職人の育成

- ・未成年の職人は積極的に受け入れる
- ・その専門工事業者のフォローだけでなく、社員や他職の職長も含め、皆で声を掛け一人前に育てる
- ・他職の職長、職人、所長に声を掛けられると長続きする職人が多い

## 3.技術の伝承

### 3.1 技術者としての自覚

#### 我々は技術者である

お客さんに提供しているのは「形として残る建物」であるが、本当に重要なのは、完成に至るまでのプロセスを含めた「技術の集大成」を提供することである

職人が長年の修行を積んで得た知識・技量を、我々は「知る努力」をしなければならない。生産性向上とは相反するが、時間をかけてでも学ぶべきと考える

まずは自分が見本となる技術者となり、  
若手社員へ技術を伝承していきたい

## 3.2 失敗の水平展開

建設業は失敗と成功の繰り返しである

⇒失敗から学び、次に同じ間違いをしない様に  
考えることで、技術は向上し、次の世代へ語り  
継がれてきた。

- 「失敗」したことは絶対に忘れない、次はしないよう「考える」
- たまたま上手くいって、成功してしまうことの方が、  
恐ろしい。失敗した方が勉強になる
- 昔は「失敗」を経験させてあげられたが、今は難しい  
「失敗」を水平展開し、擬似体験をさせることで成長する

### 3.2 若手社員への教育（気を付けていること）

- ・常に「なぜ？」と問いかける
- ・自分で「考える」癖をつけさせる
- ・「答え」は言わない、「ヒント」は与える
- ・放置しない、回答できない時は一緒に考え、「答え」に導く
- ・「結果」ではなく「プロセス」「根拠」を教える

「答え」ではなく、「プロセス」「根拠」を教えることで自分で考え、答を導き出す力がつく。

⇒次の世代に教育できる人財が育つ

## 4.コミュニケーション力

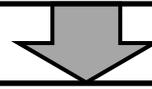
### 4.1 まずは挨拶から

#### ■コミュニケーションのレベル

会話 (Conversation) : あいさつ、雑談



情報伝達 (Information) : 雑談から情報



対話 (Dialog) :

1対1、やっちゃいけないと言う事で事故がなくなる



意志疎通 (Interaction) :

心が通い合う ⇒ これが本当のコミュニケーション！

## ■心と心のキャッチボール

- ・まずは**名前**で呼び合おう！
- ・自ら声を掛ける、まずは挨拶
- ・「話しかけやすい」雰囲気作り
- ・話は**最後まで聞く**、途中で遮らない  
(途中で「答え」を言わない)
- ・「否定」はしない、まずは「聞く」姿勢



コミュニケーションワッペン



ヘルメットの名前表示

電話・メール等が主流の時代、顔を突き合わせて話す機会が減ってきているが...

やはり、Face to Face のコミュニケーションが大事！

## 5.社会に対する情報発信

### 5.1 建設業の魅力発信

#### ■建設業の魅力とは

##### 魅力ある業界とは？

- ・将来への夢や希望があること
- ・処遇が良いこと
- ・仕事の達成感が高いこと
- ・社会への貢献度が高いこと

建設業は仕事の達成感、社会への貢献度は十分ある  
将来への夢や希望、処遇に対しては、改善が必要

⇒ もっと社会への発信が必要

## ■建設業の魅力発信先

### メディアへの発信

- ・CM、新聞、キャッチコピー
- ・施工技術・実績の紹介
- ・建設小町、なでしこ
- ・HPでの発信

### 教育現場への発信

- ・インターンシップ学生の  
他現場見学
- ・学生向け見学会
- ・体験学習

### 建設業の 魅力発信

### 親から子へ

- ・竣工時の内覧会  
(社員・職人の家族)
- ・職長会活動への家族参加
- ・施工記録DVD・写真他

### 近隣への発信

- ・地域見学会
- ・仮囲いへのペイント・掲示
- ・工事紹介施設
- ・職長会活動への近隣参加

## ■職人の技術はすばらしい

建物のほぼ全ての部分は職人の手によって作りあげられている。

大型プロジェクト、有名な建築家の建物、意匠性の高い建物、特殊な建物、最先端の技術、難易度の高い技術等はメディア等に取り上げられるが・・・

職人が当たり前に行っている技術、

**「人が人の手によって、自分の背丈よりはるかに  
高い建造物を作り上げる技術」**

そのものが、非常に素晴らしい技術であり、魅力だということをもっと発信すべき